

令和3年度 竹田教育事務所 重点方針

1 学校マネジメントの深化(カリキュラム・マネジメント)

□「学校マネジメント4つの観点」に基づく学校マネジメントの深化

観点Ⅰ：育成を目指す資質・能力を明確にした学校の教育目標設定・見直し
及び重点目標等の設定、家庭・地域と共有

観点Ⅱ：短期及び年度を跨いだ検証・改善サイクルの確立

観点Ⅲ：主任等が効果的に機能する学校運営体制

◇ミドル・アップダウン・マネジメント

◇効果的・効率的なチーム体制の構築

観点Ⅳ：学校・家庭・地域による目標の協働達成(目標協働達成)



□「地域とともにある学校」への転換(目標協働達成)

○「学校評価の4点セット」を共有及び学校の取組に参画

○学校・家庭・地域の役割分担の明確化・適正化(熟議)

□教育課程レベルでの校種間連携の推進

○「学校評価の4点セット」による校種間連携の推進

○小学校のスタートカリキュラム活用による幼保小連携の推進

□学校現場の働き方改革の推進

○各学校における業務改善のための「1改善運動」テーマを
絞り、取組の推進(例：ICTを活用した業務改善など)

子どもの力と
意欲の向上

2 授業改善の徹底

□「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現

○1時間完結型(「めあて・課題・まとめ・振り返り」の適切な設定)

◇単元計画の作成

◇単元や題材の「ねらい」に即した「めあて」の設定

◇深い学びにつながる「振り返り」の実施

○板書の構造化及び板書とノートの一体化

○習熟の程度に応じた指導及びGIGAスクール構想の実現に向けた
ICTの効果的な活用の推進

◇「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り

◇「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫

◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

○生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

○自立した学習者の育成(校内での取組1つ以上)

□カリキュラム・マネジメントの日常化

○教科横断的な単元配列表の作成及び活用、検証・改善の実施

□特別支援教育の視点からの授業改善

○通常学級に在籍する教育的支援を必要とする児童生徒に対する
「個別の指導計画」の作成及び活用、検証・改善サイクルの実施

3 体力向上の推進と健康課題への対応

□運動の習慣化・日常化に向けた組織的取組の推進

○「新大分スタンダード」に基づいた「分かる」「できる」
「楽しい」授業づくりの推進

◇小学校体育専科教員、中学校体育推進員の活用促進

○「一校一実践」の取組内容の充実

◇学校全体で組織的・計画的に実施

○課題のある項目を中心とした体力テストの再実施
による取組成果の検証・改善



□生活習慣の改善とフッ化物洗口等の取組拡充

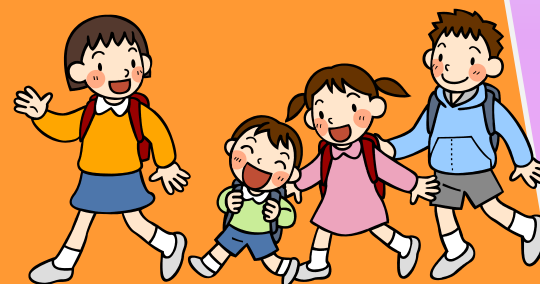
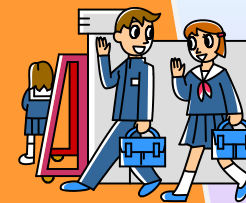
○食や睡眠などの生活習慣の改善

○歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用の
3本柱で進めるむし歯予防対策(むし歯治療の奨励)



「芯の通った学校組織」を基盤

とした教育水準の向上



4 いじめ・不登校対策等の推進

□組織的ないじめ・不登校対策等の推進

○教育相談コーディネーターを中心とした組織的取組の徹底

○人間関係づくりプログラム等を活用した「居場所」や「絆」を意識した
学級づくり

○生徒指導の3機能を踏まえた授業改善や人権尊重の3視点による人権
の授業づくりの推進

□専門スタッフの効果的活用と教育支援センター等との連携

○SC、SSW、SL等の校内対策委員会への参加や校内研修での積極的活用

○地域児童生徒支援コーディネーターの活用推進

○教育支援センター(適応指導教室)等との連携強化

□子どもの貧困対策の推進

○市教委、福祉等関係機関、子ども食堂との連携

